

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 子育て支援体制づくり

4.5

- 3 視点 「らしく」生きる難しさ
- 3 ひろば 村の秘密
- 6 実践記録シリーズ 子育てサポーター養成講座
- 7 サークル交流 小千谷市ゴリラサークル (小千谷市公民館) / 青海町絵てがみ教室 (青海町公民館)
- 7 素顔拝見 山岸秀之さん (両津市) / 野上敦子さん (塩沢町)



「ほたるコンサート」 大島村

第54回新潟県公民館大会開催

「越後あらい景虎物語」の地で、心豊かな子どもを育てるための公民館の挑戦

去る7月18日(金)、第54回新潟県公民館大会が、あらい景虎物語の地、新井総合文化ホールで開催された。

上越地区での久しぶりの開催であり、当日は五百七十余名の参加が得られた。

梅雨の最中にもかかわらず当日は何とか天候も安定し、主管の新井市教育委員会をはじめ上公連の全面的なご尽力により、内容の濃い充実した大会とすることができた。

秋山千恵子上公連会長の開式の言葉、今井昭友会長の主催者挨拶、新潟県教育長代理



パネルディスカッション

五十嵐駿介教育次長の共催挨拶に続いて表彰式に移った。

永年勤続表彰者は十六名(氏名は3面に記載)が受賞し、受賞者を代表して上越市立公民館の宮崎道夫様が謝辞を述べられた。

引き続き来賓の祝辞に移り、新潟県公民館振興市町村長連盟会長(小千谷市長)関広一様のご祝辞、地元新井市長入村明様の歓迎のことばをいただいた。

来賓紹介、祝電披露の後、現下の急務の課題である市町村合併問題について、当県公連市町村合併問題調査検討委員会委員長渡邊徳廣から、緊急



大会旗 次期開催地の長岡市へ

平成15年度新潟県公民館振興市町村長連盟総会開催



ご祝辞 五十嵐教育次長様

- 出席 48人 委任(欠席)62人
開会 14:30
- 1 会長挨拶(小千谷市長) 関広一
 - 2 来賓祝辞 新潟県教育長 板屋越麟一様(教育次長 五十嵐駿介様)
 - 3 " 新潟県公民館連合会 今井昭友様 来賓 県市長会事務局長 土田義司様
 - 4 議長選出 関会長
 - 5 協議
 - 第1号議案 平成14年度会務報告
 - 第2号議案 平成14年度歳入歳出決算について
 - 第3号議案 役員改選について 全役員再任
 - 第4号議案 平成15年度重点目標並びに事業計画について
 - 第5号議案 平成15年度歳入歳出予算について
 - 第6号議案 第54回新潟県公民館大会の共催について
 - 6 公民館活動の紹介
事例発表
「岡山県山手村との交流を通してのまちづくり」の取組み
十日町市中条地区公民館長 星名武男様
- 閉会 16:00

アピール文案(別掲)が提案され、満場の拍手で承認された。その後、一時間三十分にあたり「地域の教育力を高める」く共育コーディネーターの役割」と題して、新潟仕掛人会議代表運営委員の清水義晴先生から、基本理念、具体的事例を交えての基調講演がなされた。

市町村合併と公民館についての緊急アピール

新潟県内では、全国に先駆け「市町村の合併の特例に関する法律」に基づいて、市町村合併の波が、急速に押し寄せております。公民館は、1950年代の町村合併「昭和の大合併」以来、今回の「平成の大合併」に遭遇することとなりました。前回の合併では、地域の再編・統合と社会情勢の変化に伴い、公民館と共に社会教育を大きく推進してきた青年団や婦人会に大きな変革をもたらし、その組織の衰退を招きました。さて、今回の大合併は、より広域的な行財政の確立を図るものだけに、公民館も、統廃合、複合施設化、職員削減、管理運営費等の削減、合理化も予想される現状にあります。このような厳しい局面の中で、社会教育推進の中核施設である公民館の機能、役割確保のため、市町村合併にあたって、下記のことを関係当局に要望いたします。

- 記
1. 公民館施設の確保、充実について
市町村合併後も公民館が地域住民の学習・文化活動の場であり、地域課題を解決し、住民意識の融和を図る事業を実施できるよう、旧市町村単位毎に地区公民館の設置を図られたい。
 2. 公民館専任職員の必置について
公民館事業の深化・拡充を図るため、必ず専任の館長及び相当数の職員を配置されたい。
 3. 公民館の予算確保について
地域住民の生涯学習の維持、向上を図るため、公民館の管理運営費及び事業費を確保されたい。

平成15年7月18日 新潟県公民館連合会

民館副主事山本明美様から、それぞれ具体的な事例発表がなされた。総括は、清水義晴先生が、将来的な展望を交えて分かり易くまとめられた。

視点

「らしく」 生きる難しさ



上越地域学校教育支援センター 専務理事
上越市立公民館運営審議会委員 中戸 正子

自分の都合で人の善し悪しを判断することがある。特に、自己中心の子どもの頃は正にそうである。それぞれの人生を選択する中で、人の見方や考え方は洗われ変化していく。

昔、人間いかなるときも「らしく生きる」ことが信条の地主がいた。強欲・非常の呼び声高く、生前の評判は決して善いものではなかった。しかし、背伸びをせず自分に恥じず、卑屈や自惚れ・甘えることなく、律して生きることを求めていたとしたらどうであろうか。家族の間でさえも当たらず障らずの軽い人間関係を善としていた昨今の者にとって、責任感を含め最も不足していることではないか。

また、家庭の中に居場所を見出せない老若男女のことが話題になる。心の安らぎを得る家庭は大切だが、必要とされている自分を感ずることができない限り、そこに居場所はない。らしきもない。日常生活は、自分にとって都合のよいことばかりではない。しかしそれを越えた先に、不思議なことに避けていては見出せなかった安らぎを見る。



子どもたちが地域を愛し、他人とのかかわりを厭わないのは、こんな環境のお陰と感謝しております。

| HOT NEWS | | |
|-----------------------|--------|--------------------|
| 掲 示 板 | | |
| 第54回新潟県公民館大会での永年勤続受賞者 | | |
| No. | 氏 名 | 所属公民館並びに役職 |
| 1 | 宮崎 道夫 | 上越市立公民館 前公民館協力員 |
| 2 | 川上真知子 | 上越市立公民館 公民館協力員 |
| 3 | 土田 シナ | 三条市井栗公民館 運営審議会委員 |
| 4 | 池田 優子 | 三条市井栗公民館 運営審議会委員 |
| 5 | 村山 榮子 | 柏崎市松波公民館 地区指導員 |
| 6 | 問島みよ子 | 柏崎市北鯖石公民館 地区指導員 |
| 7 | 阿部 桂子 | 新潟市中央公民館 運営審議会委員 |
| 8 | 井上 秀耀 | 新潟市中地区公民館 運営審議会委員 |
| 9 | 村手 信一 | 新潟市石山地区公民館 運営審議会議長 |
| 10 | 鹿島 耕平 | 新潟市黒埼地区公民館 運営審議会議長 |
| 11 | 小林 睦雄 | 新潟市黒埼地区公民館 運営審議会委員 |
| 12 | 神保よう子 | 燕市公民館 前運営審議会委員 |
| 13 | 久保田貞三郎 | 燕市西燕公民館 前館長 |
| 14 | 金子 勲 | 燕市南公民館 推進員 |
| 15 | 小林 博 | 燕市南公民館 運営委員 |
| 16 | 諸原 ミイ | 味方村公民館 運営審議会委員 |

ひろば

村の秘密

浦川原村公民館運営審議会委員 小堺 哲也

浦川原村の公民館運営審議会委員兼社会教育委員になって三年目になります。

会議に出て、社会教育と文化・スポーツ事業の計画や事業報告を見るたびに、

少人数の事務局で目一杯の事業に取り組んでいることに感心しています。

ジュニアフェスティバル、ちびっこスポーツ塾、海の子山の子交流事業、東頸ワイクエンド事業、スポーツ少年団の育成、ジュニアスキー・スノーボードスクール、村立図書館運営、パソコン講習、子育て講座、村芸術祭・芸能発表会、天然記念物保護活動、遺跡発掘調査、ファミリーウォーク、村民体育大会、雪上カーニバル、ストレッチ教室、いき

いき運動実践教室、スポーツ指導者講習会、ジュニアスポーツ懇談会等々…

これらが成り立っている秘密は、大勢のボランティアの活躍です。

子どもたちが地域を愛し、他人とのかかわりを厭わないのは、こんな環境のお陰と感謝しております。

同じ境遇の友人から「よくいろんな所で声を出ることができるね。」と言われます。私は看護師をしていたので、患者さんの世話をベストに尽くすことができるには、相手の言葉をしっかり聞くことが大切です。だから要求は口から出さないと伝わらないことを知っているんですね。

家族の中や、同じ境遇の中というだけの温かい所にいることも処生術なのかも知れないけれど、同じ人間なのになぜ人間らしい生活をしないのか。どうして自然の生き方をしないのか。これってノーマライゼーション(障害者を施設に隔離しないで、できるだけ社会の中で普通の人達と一緒に生活させようという考え方)っていうんですね。

一障害という言葉をどのように感じるか。

そう言えば考えたことがなかった。言われ慣れてしまっているから。私は発達が遅れているという表現をしていますね。障害と言うと相手がひるむでしょう。パパと話し合っているんです。どこへ行ってもMちゃんを知らないって人はいないようにしようって。そして、いつでもはっきりと障害があるんですよと胸を張って言えるようにしようって。

3. 西地区公民館の対応と取り組み

Tさんから依頼があり、すぐに館内で話し合いました。まだ障害児を受け入れる整備も研修もされていない現状でしたが、生涯学習の中核的な機関である公民館として、可能となるように最大の努力をし、その要望を受け止めることとしました。

早速保育者の方々に意見を求めたところ、「母親が希望をしているのならば受け入れたい。それは親への学習支援にもなります。しかし、経験がないわけだから不安です。事前に保育をする上での留意点を詳しく聞かせていただき、活動をしていきたい。」という言葉でした。新潟市の公民館における保育室の設置意義である“市民の学習権を保障していくための保育室”を、充分理解されている保育者の前向きな姿勢には、いつも頭が下がります。

翌日、Mちゃんを抱いたTさん・保育者・職員が集まり、じっくりと話し合いました。私が考えていた以上に挙がった数多くの留意点と、細かな配慮を要する世話に、経験や研修もしていない私達が果たして受け入れて良いのかと、正直心が動揺しました。

けれども、いろいろな質問を投げかけそれに答えるTさんの言葉を熱心にメモったり、看護師経験のあった方は専門的な知識を持って適切な受け止めをされたりと、期待に応えようとしている保



「保育室のあゆみ」パンフレット(裏)

育者の姿に、吹っきることができました。そこで公民館の設備を工夫し、三者連携のもとで取り組みました。

4. 新潟市、公民館の受け入れの現状と問題

現在までに、数館の公民館や女性センターが、家庭教育関連や女性セミナーなどの保育設置事業への申し込みに、様々な手段を尽くしながら障害児の受け入れをしています。また、学校週五日制対応の少年教室や居場所作りなどの事業に、障害のある子どもも、たびたび参加をしてくれています。

しかし、今後、障害に対して全く知識のない『保育』であれば保育者が、『少年対象事業』であればブレイリーダーが受け持つ可能性も考えられ、不安感も強く、対応しきれないと思われる問題が一つ目として上げられます。そして二つ目には、対応する基準として、専門的な知識を持つ人が専従したり、指導したりできるように補充が求められてくるということです。

5. アクティブな公民館

問題点として前記した解決方策の一つ、研修会が職員や保育者に向け、平成14年12月より始まりました。他課へも広く案内をし、障害福祉課・女性センター・生涯学習課・青少年課も参加して、層も厚くなりました。内容も講義の他に3つのグループに分かれ、「学校週五日制対応事業・公民館保育室に障害児を受け入れるための対応策」「障害児に配慮した事業の企画と運営」というテーマで活発に討議されました。再度一堂に集会した場では、これからは“他課との横の連携をすすめていくことが必要”というキーワードも出されました。さらに3月には追加研修と、保育者研修会では障害児の保護者のメッセージを盛り込み、意識と理解を深めていっています。

これからも公民館では、誰もが学んでいただけるための生涯学習施設として、着実に条件整備をすすめていきます。

子育て支援 体制づくり

特集

障害児受け入れについて

新潟市西地区公民館 嘱託 武田 早苗

1. 再会へのアプローチ

「あーっ。あの時は大変お世話になりました。私と子どもたちは、公民館でようやく社会参加のスタートをきることができたんですよ。本当にありがとうございました。」

私からの突然の電話に少々驚いた様子ではありましたが、すぐに喜々とした彼女の声が返ってきました。私の方は「覚えていてくれるかしら。」と、少し不安な気持ちで受話器を手にしていたので、思わぬ言葉に「みんなで頑張ってたかった。彼女が思い続けていた願望を果たす役割を、公民館が担うことができてよかった。」とその時の気持ちがよみがえり、心が熱くなりました。

その電話の相手は、平成13年度国庫補助事業幼児期家庭教育学級『すくすく学級』を受講されたTさんでした。この度の原稿執筆を仰せつかり、私はTさんと3歳になった双子の一人で、脳性麻痺で生まれ発達の遅れているMちゃんに、紙面へ掲載させていただけるかどうかということと、で



「保育室のあゆみ」パンフレット(表)

できればお会いしてお話しをしたいというお願いをしたのです。

すると、Tさんはにこやかな声で「私達でお役に立てるのなら構いませんよ。よかったら我が家に来てください。」と快諾してくれました。

2. ノーマライゼーションへの思い

ゆるやかな坂を登りきり、辺りが広々とした環境の良いお住いに、思わず「子育てに最適ね。」と言いましたら、Tさんははにかみながら「田舎でしょう。でも、公民館で出来たお友達が遊びに来てくれるんですよ。」と嬉しそうに話してくれました。

あっという間に1時間程が過ぎた頃、双子の一人が保育園へ行く間、小児療育センターで頑張ってるリハビリを受け、帰る途中で眠ってしまったというMちゃんが目を覚ましました。

その間、私の問いかけによどみなく話されるTさんの言葉の一つ一つに、人が人として生きる権利についてを考えさせられました。

(以下、応答の内容を記述)

—公民館の家庭教育学級受講の動機は…。

常に主治医と相談をしながら、親の協力を得られての子育てが始まりました。正直、親の気持ちとしては一人では荷が重く、自分自身もいっぱいいっぱいでした。開催の情報を得て、子どもと共に学べるということを知り、すぐに申し込みました。

—これまで保育園の一時保育を尋ねられたとか。

子ども達には、多様な価値観を持つ人々の間でいろんな影響を受けたり、家族以外のたくさんの人達の愛情をいっぱい受けて育ててもらいたいと考えています。そこで保育園の一時保育をお願いしてみようと思い、障害児保育ありという所へ何度も電話をかけました。子どもの状態を話していくと結局受け入れてもらえず、切なかったですね。責任という問題や知らないという不安があるのでしょう。徐々に諦め気分にもなりましたが…。

—それでも頑張ろうという思いはなぜ…。

実践記録 シリーズ 65

子育てサポーター養成講座

～1人で悩まず子育てサロンへいらっしやい～

亀田町教育委員会生涯学習課主任 枝並素子



成果の発表

1 「あそびの広場」開始

亀田町は新潟市への交通アクセスが非常に便利なことから、結婚を機に亀田町で生活を始めている若い夫婦も多くいるようです。そのような夫婦が子どもを産み、育てる中で、特に母親が子育てにおいて孤立し、育児不安になっていることが問題視され始めました。友だちづくりや情報交換の場を求めている母親に、紹介する場が亀田には何もないと母子推進委員から報告がありました。それがきっかけで、従来の育児相談を「相談がなくても親子でいらっしやい」という形の「あそびの広場」に変えて平成10年4月から始めました。

開始直後は20組弱でしたが、冬期間は外に遊びに行けない等の理由で利用者が増え、80組約160人が参加することもありました。原因は、町内では1カ所しかそのような空間がないため、同じ子育て中の身として何とかしたいという気持ちがありました。

2 「子育てサポーター養成講座」の立ち上げ

平成14年4月に、教育委員会生涯学習課の事務室が役場本庁より町民会館へ移動になりました。生涯学習課管轄にかわったことで、館が何かと利用しやすい状況になりました。そんな折、公民館月報の実践記録シリーズで新潟市東地区公民館の「子育てサロン」事業の記事を読み、まさにこれだ！と

| 平成15年度 生涯学習事業計画 | | | |
|-----------------|-------------|---|-----------------|
| 回 | 日時 | 内容 | 講師 |
| 1 | 5/13 (火) | ゆるやかな関係づくり (初対面の方との接し方) | |
| 2 | 6/3 (火) | コミュニケーション法 | |
| 3 | 6/24 (火) | カウンセリングマインド | |
| 4 | 7/8 (火) | 子育て支援とは (子育て支援の施策や目的、 現在の子育ての環境・状況・ 母親の悩み) | 亀田町 保健師 |
| 5 | 7/22 (火) | 子どもを育てる上で、男女 の差なく個性を大切にしま しょう！ 人権の基本を学ぶ | |
| 6 | 9/2 (火) | 私が考える子育て支援 Part 1 (ワークショップ形式) | 生涯 学習課 職員 |
| 7 | 9/16 (火) | 私が考える子育て支援 Part 2 (ワークショップ形式) | 生涯 学習課 職員 |



熱心な討議

思い私のサロン開設に向けての意欲が高まりました。

「あそびの広場」は保健師、管理栄養士などが参加して開かれています。それに対し、子育てサロンは現在子育て中の母親の気持ちや状況を理解できる、子育ての先輩としてのサポーターが常駐しているものにしたと考え、養成講座を立ち上げました。

3 講座スタート

19人の受講生とともに、第1回目「ゆるやかな関係づくり」がス

タートしました。その中で、この講座への参加動機を話す機会があったので受講生の声を紹介します。

★自分の時の子育ては、友達がいなく孤独で不安でした。そんな人がいたら助けてあげたいから。

★自分の子どもたちが小学生になって、少し楽になったので何かしてみたかったから。

アイスブレーキングを交えて、まず受講生の心身をほぐしながら受講の動機を聞くことで、講座の目的を共通認識することができたように感じました。

第2・3回目はサポーターの大切な役割は、母親がサロンを通じてリフレッシュしてもらうことなので、相手の話をよく聴く、話を引き出してあげる方法を学ぶため「コミュニケーション法・カウンセリングマインド」を設定しました。人の話を聴くのは、難しいというのが受講生の感想でした。

第4回目は、町の子育て支援の現状について保健師より話を聞き、9月に入るとワークショップをしながら、サロンの重要性、サロンに必要なものを考える予定です。

4 サロン開設に向けて

11月に町民会館が新装オープンしてから、12月にいよいよ月1回のサロン事業を始めたいと思っていますが、そのころまでに何名サポーターとして残っていてくれるかが不安です。最初から子育てサロンありきで考えるのではなく、子育て中の親子とサポーターが互いに支えあい、生き生きと活動できるようなサロンになってくれればと思っています。

私達にも出来るかな、
保育ボランティア

小千谷市ゴリラサークル

市の保育サポーター養成講座を受けた後、13年3月にサークルができました。一見怖そうなゴリラの親が優しく子育てする姿に感銘し、ゴリラサークルと名付けました。

気負わず、自分達に出来る活動を月一回の定例会と山間地の親子との交流。読み聞かせ、工作、運動遊び、散歩、親との交流が主な内容です。また、幼児から大人を対象にした活動も行ない、いちご



狩り、リース作り、メ縄作り、ミニコンサート、おひな様作り等も行っています。今年もゴミの勉強会も計画中です。自分達に出来る活動を、会員も楽しみながら続けて行きたいと思います。

やる気一杯の五十?才のおばさん達のサークルです。

保育ボランティアサークル
平沢 正子 記



ポストを通して
友達づくり

青海町絵てがみ教室

先月、教室のメンバー40人で、絵てがみの展示会を行いました。

町民会館のギャラリーは、花、野菜、果物等てがみがいになりました。沈滞した今



ら抜け出した、明るい、あたたかい会場になりました。十日町、上越方面からお出でになり大盛会でした。

教室は毎月二回開いています。先生に「下手でいい、下手がいい」と励まされながら、ほめられながら、三年目に入りました。仲間同士の文通も多くなりました。

自然の移り変わり、台所の小さな発見、生活の喜びを葉書に描いて、仲間と楽しく、励まし合いたいと思います。年一回の展示会は、出会いと勉強のチャンスでした。

紙ふうせん

小野 綾子 記

両津市公民館の職員は、公民館長を含め13名です。新採用で公民館に配属された私は、2年目を迎えました。主に高齢者学級や、様々なサークルが各自に運営する自主講座などを担当しています。

公民館長が常日頃、公民館職場では「人と人とのふれ合いが大切」と話されています。人と人がコミュニケーションをとり、そこから学んだものを様々な場で活かす。こ



両津市公民館
主事 山岸秀之さん

の言葉の深さを日々、痛感しています。

また、公民館脇にある畑に花などを植え、市民が気持ちよく来館してもらい、また来たいと思える公民館を目指し、日々花に水や肥料をやり汗を流しています。これからもふれ合いを大切にし、地域の方々から活力の肥料をいただき、公民館活動にも大きな花を咲かせたいと思います。

素顔
拝見

文化財、図書、文書集発、ボランティア等々を担当し、多忙を極める塩沢町公民館に、なくてはならない存在となっている彼女。5年目のベテランとして物静かな中にも、厳しいチェックが入ることもしばしば。

昨年より始めた「ブックスタート」事業も彼女の発案。読み聞かせボランティアや文化団体のボランティアとし



塩沢町教育委員会・公民館
主査 野上敦子さん

ても活躍している彼女はいつ休んでいるのかと思うほど多忙だ。でもそんな素振りは一切見せない。

酒の付き合いもなかなかのもので、最後までいても乱れた姿は？見たことがない。仕事にボランティアに多忙な彼女だが、ちゃんと主婦はやっているのだろうか？余計なお世話かもしれないが最近心配になってきた。

(塩沢町公民館 中沢 晃 記)

資料紹介

青春の足跡を歩いて歩いた(歩)第百十六聯隊での七年

三本和雄

5月1日入隊。昭和13年徴集の現役兵として。歩兵第十六聯隊留守部隊隊長簡井中佐。12頁3行の最初のこの部分に触れて、一気に最後まで読み通すこととなった。

何故なら、この簡井中佐殿のご子息と一緒に勤務、教職の先輩としてご指導いただいたご縁があったので。

全文を読みとおしての感想は、兵士としてはもち論のこと、人間社会でも立派な人格・識見、行動力のある方であるこ



とを感じた。戦闘場面、戦傷を受けられた後の兵站病院での行動、戦後の捕虜生活の中での対応等、たえず人とのかわりを重視し、他を思いやる心を失わず、リ

ターとしての状況判断、決断、そして、統率していかれる姿に感銘を受けた。また、極限状況の中で、人間性を失わずにメンバーを導かれている姿にも敬意を表したい。

ご高齢にもかかわらず、膨大な資料を分類、整理しながら著作物としてまとめられたご努力にも驚嘆している。

そして巻末には、冊子刊行の裏方としてサポートされた松本十三雄さんのご尽力もあった、と付記されていた。

Net work ネットワーク

第4回 インターネット活用教育実践コンクール

www.netcon.gr.jp

地域社会や学校などで実施される教育におけるさまざまな活動において、インターネットを有効に活用している優れた実践事例を広く募集します。

主催 文部科学省、インターネット活用教育実践コンクール実行委員会
後援 総務省、経済産業省、朝日新聞社

【部門】 ■学校教育部門 (学校における活動事例)
■社会教育部門 (地域社会における活動事例 (学校との連携事例も含む))

【賞】 ◇内閣総理大臣賞 両部門を通じて 1件
◇文部科学大臣賞 学校教育部門・社会教育部門から 各1件
◇総務大臣賞 両部門を通じて 1件
◇経済産業大臣賞 両部門を通じて 1件
◇朝日新聞社賞 両部門を通じて 1件
◇インターネット活用教育実践コンクール実行委員会賞 両部門を通じて 数件

【佳作】 両部門を通じて 数件
賞には、IT機器を副賞として、贈呈いたします。また、入賞した実践事例については、報告書及び現地取材による事例紹介ビデオをエル・ネット及びインターネット上や、他の媒体で広報いたします。なお、佳作については、証書をお送りするとともに、インターネット上等で広報いたします。

【応募締切】 平成15年9月30日(火)

【応募先(事務局)】

インターネット活用教育実践コンクール実行委員会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1視聴覚ビル
(財)日本視聴覚教育協会内 電話03-3591-2186
e-mail info@netcon.gr.jp

event information

安全運転・チャレンジ100実施の流れ

| | | |
|---------------|--|---|
| 参加申込 | (1)申込み期間 7月1日(火)から9月1日(月)まで | 事務局 ●この件に関するお問い合わせ先 〒950-8570 新潟市新光町4番地1 新潟県県民生活・環境部 県民生活課 交通安全対策室内 チャレンジ100実行委員会事務局 TEL025-285-5511 内線2485~7 |
| | (2)申込み方法 申込みは振込用紙に必要事項を記入し、1チーム当たり1,000円の参加料を添えて郵便局に振り込んでください。 | |
| 募集期間 | 7月1日(火)~9月1日(月) | 5人1チーム参加費1,000円(1人200円)郵便局へ振込み |
| 実施期間 | 9月23日(火)~12月31日(水) | 9/23(火)スタート 100日間無事故・無違反を目指せ! 12/31(水)終了 |
| 無事故・無違反達成報告期間 | 1月1日(木)~1月23日(金) ※当日消印有効 | 5人全員が無事故・無違反を達成したチームの代表者は、達成報告書で報告を! |
| 予備抽選会 | 1月下旬予定 | 事務局にて予備抽選を行い当選チームの無事故・無違反確認を代行いたします。 |
| 本抽選会 | 2月中旬予定 | 無事故・無違反を確認後本抽選にて賞品当選チーム100チームを決定します。 |
| 表彰式 賞品発送 | 2月中旬予定 | 宿泊券などの豪華賞品があなたのお手元に! |

※特別賞については参加チーム数により、変動することがあります。

第43回公民館大会も、盛会裡に終了させていただきました。ここに、広瀬恒雄実行委員長はじめ、新井市教育委員会並びに上公連の実行委員の皆さまの

ご尽力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第43回社会教育研究全国集会へ当公連今井昭友会長と、新潟市坂井輪地区公民館嘱託高橋文子さんが参加されます。

(鈴木 記)

表紙解説 「第12回 ほたるコンサート」(大島村公民館) 7月5日にほたるコンサートが行われました。今年は、ゲストと村少年少女合唱団との合同演奏が行われました。